

堺国際クリテリウム



- スタート時間：10：50～
- 距離：2.7km x 10 周
- 出場選手：ツアー・オブ・ジャパンに出場する選手
- ルール：一斉にスタートし、最初にゴールした人が勝ち。ルールとしては非常に単純ですが、チーム間で様々な駆け引きが行われています。

レース観戦・・・覚えておきたい2つのポイント

- ① 狙うのは「チームとして」の優勝
自転車レースは「1 位」を目指してチームが動く。それ以外は興味なし。約 100 選手が出走して勝つのは 1 人。自分のチームの「エース」を勝たせるため、他のメンバーは犠牲になって走ります。
- ② マラソンとの違い
堺のコースでは選手たちは平均 45km/h 程で走ります。スピードが上がれば上がるほど、空気抵抗が大きくなり、風を受ける集団の先頭付近はペダルが重くなります。皆さんも風の強い日に自転車に乗ることを想像してみてください。逆に集団の中にいれば空気抵抗を受けにくく、かなりラクに走れます。先頭はキツイ。でも、集団の後方だと勝負に絡めない。さらに転倒に巻き込まれるリスクもあります。理想の位置は集団の前から3～10 番手付近。例えば自分の前をチームメイトに走ってもらうことで良い位置をラクにキープすることができます。

よくある作戦

- ① 数名が大集団から抜け出す
- ② 抜け出した選手達は違うチーム同士でも協力して、空気抵抗を交代で受けながら集団から逃げる
ライバルなのに何故協力体制をとるのか??
100 人の集団の場合：勝利確率 1% 3 人で抜け出した場合：勝利確率 33% →勝率の大幅アップ
- ③ その時、追走する大集団では・・・
先頭にいる選手のチーム“以外のチーム”が、大集団を引き連れて先頭集団を追いかけます。この時、抜け出している選手のチームメイトは集団内で休めます。集団を引っ張る選手達は空気抵抗を受けて疲れますが、「追い付くまで」頑張ります。彼らは自分のチームのエースのために、先頭に追い付けば良い（＝ゴールまで頑張る必要はない）ため、捨て身で引っ張ります。
ゴールまで力を配分する先頭集団の人数 vs. 捨て身の 10 人以上（←各チームから一人ずつ出てきても 10 人以上になります）
このため、集団から抜け出した選手は、多くの場合、ゴールまでに大集団に捕まってしまいます。
- ④ 先頭集団が捕まると集団の中で力を温存していた選手が、次の先頭集団を形成していきます。この繰り返しレース中盤まで続くことが多いでしょう。
- ⑤ ゴールまで残り 3 周くらいになると、ゴールスプリントに備えて、各チームが集団内で集まりだします。同じジャージが集まるので判りやすいでしょう。
- ⑥ このコースでは、最終回の最終コーナーを 3～5 番目で曲がるのが重要です。あまり前だとゴールまでに空気抵抗を受けて失速してしまいますし、あまりに後ろだと、ゴールまでに先頭に出られません。最終コーナーに自分のチームのエースを良い順番で送り込むために、ゴールが近くなると、各チームは隊列を組んで集団内で位置争いをします。
- ⑦ チームメイトに良い位置を確保してもらったエースは、ゴール前の直線で温存していた全ての力を出してスプリントをします。
どの位置でエースを前に出すのか？この時、どのくらいエースに余力が残っているのか？が勝負を分けます。
- ⑧ 先頭集団がゴールした後、捨て身でエースを助けていた選手達が遅れてゴールするでしょう。
彼らは単に遅れたのではなく、「自分の仕事」を終えた選手なのです。
パンク、転倒などのトラブルの際には自分の車輪、自転車をエースに渡すこともあります。

ツアー・オブ・ジャパン 第1ステージ 堺



- スタート時間：13：35～
- 距離：2.6km x 1 周 2.6km
- ルール：一人ずつスタートし、コース 1 周のタイムを計ります。一番早い人が勝ち。
一人で走るのでチームメイトの助けは得られません。選手個人の実力がそのままタイムに表れます。全力でペダルを漕ぎながらも、最短のコースを選び、コーナーも出来るだけ減速せずに曲がっていきます。例年の優勝者は約 50km/h で 1 周を駆け抜けます。ツアー・オブ・ジャパンは 1 週間続くレースの合計タイムが一番少ない人が総合優勝となります。例えて言うなら 1 週間、毎日マラソンして、その合計タイムを競うようなものです。2023 年は総距離 約 793km。その最初のレースがこの堺ステージです。ツアー・オブ・ジャパンでは、そこまでの総合時間が一番少ない選手にグリーンのジャージが与えられます。最初の堺ステージで一位になると、当然総合時間は 1 位になるので、第 2 ステージでは、現時点で 1 位である証の緑のジャージを着用して走る権利が与えられます。

ツアー・オブ・ジャパン 第1ステージ 堺
会場案内図



大仙公園周回コース	メイン会場（催し広場）	いこいの広場付近
10：50 堺国際クリテリウム [2.7km×10 周] 11：45 JBCFクリテリウム 13：35 堺ステージスタート [2.6km×1 周]	9：30 オープニングセレモニー 14：40 表彰式 15：00 抽選会 9：30～15：00 頃 ●協賛出展 ●観光 PR ●各種販売 ●試乗会 ●ウィラースクールほか	9：30～17：00 頃 ●2023 フォトコンテスト展示 ●飲食ブース（キッチンカー） ●バイシクルインパーク ●駐輪場

※自転車を利用する時は、ヘルメットを正しく着用して、大切な命を守りましょう。 ※自転車は車の仲間、車道通行が原則。歩道を通行できる場合でも、歩行者優先。



同時開催：堺国際クリテリウム

観戦ガイド

協賛企業

株式会社シマノ

パナソニックサイクルテック株式会社

立哨員協力団体名

株式会社シマノ / パナソニックサイクルテック株式会社 / 株式会社キャットアイ
有限会社ナカガワサイクルワークス / 株式会社オージーケーカブト / 美原走ろう会
大阪府自転車軽自動車商業協同組合 / 大阪高体連自転車競技部
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪

ツアー・オブ・ジャパン 2024 第1ステージ 堺

■主催 / 自転車月間推進協議会 ■主管 / ツアー・オブ・ジャパン組織委員会堺ステージ実行委員会 ■競技主管 / (公財) 日本自転車競技連盟 ■後援 / 内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、大阪府、堺市、(公財) 関西・大阪 21 世紀協会、堺市教育委員会、(公財) 大阪府スポーツ協会、(公財) JKA、(一社) 全日本実業団自転車競技連盟、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社 ■協力 / 堺市自治連合協議会、堺商工会議所、(一財) 堺高石青年会議所、堺市消防局、大阪府自転車軽自動車商業協同組合、大阪府自転車競技連盟、(一財) 日本車両検査協会、南海バス (株)、(公社) 堺コンベンション協会

ツアー・オブ・ジャパン組織委員会堺ステージ 実行委員会事務局
TEL.072-225-0112 (平日 9：00 から 17：00)
<https://www.toj-sakai.co.jp>

このツアー・オブ・ジャパンは、競輪の補助を受けて開催します。
競輪補助事業 <https://www.jka-cycle.jp>